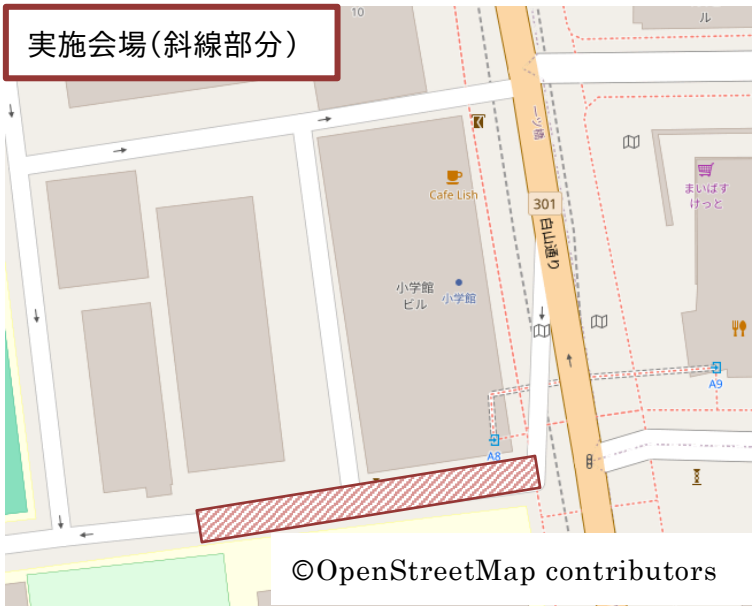
1. 実施内容

活動名	神保町ワクワク魅力新発見
主催者	千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム （千代田区キャンパスコンソ）
実施場所（エリア）	住所：千代田区一ツ橋 2-2-1　※共立女子大学本館隣接の区道 
活動の目的	○区内で学ぶ学生目線による滞留空間の創出 　大学と隣接した場所で複数のイベントを実施することで、近隣地域の方々に大学を身近に感じてもらうとともに、大学の持つ知や若者目線を取り入れた大学ならではの滞留空間を創る。神保町を中心とした地域の人々や神保町近辺で働く人達が、立ち止まって楽しく過ごせる場所、新たな地域の魅力を発見できる場所を目指す。 ○学生の学びの機会の創出 　学生の目線・アイデア、地域（千代田区・神保町）の新たな魅力発見をコンセプトとするイベントを6大学・2短期大学が参加する千代田区キャンパスコンソが実施する。多くの学生が千代田区・神保町の魅力を知り、また課題を理解し解決する学びの機会につなげる。
地域が抱える課題	活動の目的である「区内で学ぶ学生目線による滞留空間の創出」や「学生の学びの機会の創出」の基礎となる課題（問題意識）は以下のとおり。 ○区内の大学に通い学んでいるが、コミュニティの希薄化などの課題や多様な歴史・文化資源を知り理解している学生は多くない。 ○異なる大学に所属し、それぞれの専攻分野を学ぶ多様な学生が、協働して地域課題の解決に参画し、学びの機会を増やしていくことが必要である。 ○地域課題の解決に参画することは、地域社会を構成する一員として大学の重要な役割の1つであり、地域社会に貢献する機会を積極的に増やす必要がある。
活動概要	人々が立ち止まって新たな街の魅力に気づく場所づくりに資する以下の複数のイベントを実施した。

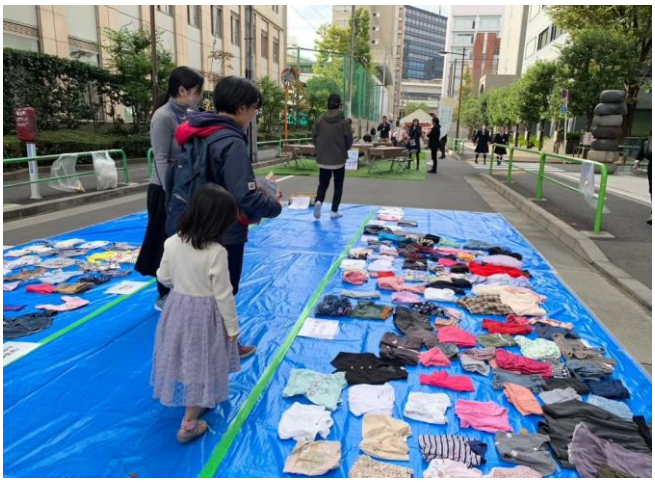
	○大学の先生の青空講義「神保町タイムトラベル～夏目漱石・青春の地を歩く」 ○大学生の推し本！路上で愉しむ！（読書エリア） ○神保町謎解き「神保町の謎を解き明かせ！」 ○タトゥーシール体験！ ○ワクワク無料交換会「本、T シャツ、子供服…、何を交換する？」 ○ろう石路上アート！ ○福井市の眼鏡端材を利活用したオリジナル・キーホルダー作りワークショップ ○エシカルアクションクイズ ○お外で、楽楽ひろば！！　青空の下でミニ運動会
実施体制	主催　千代田区キャンパスコンソ 大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部、共立女子大学・共立女子短期大学、 専修大学、東京家政学院大学、二松学舎大学、法政大学 共催　千代田区　千代田区商工業連合会 企画段階 ○千代田区キャンパスコンソの大学教職員　22 人 ○大学生37人 実施段階（当日のスタッフ配置） ○内容：受付・会場整理（通行止め案内を含む）他 ○人数：大学教職員 15 人　大学生 35 人

2. 活動内容

活動の 進め方	企画 段階	6/28　千代田区キャンパスコンソ運営委員会（企画検討） 7/22　学生企画プロジェクト　参加者学生募集開始 7/25　千代田区環境まちづくり総務課占用係との打合せ（道路占用関係） 7/26　千代田区キャンパスコンソ運営委員会（企画検討） 8/上旬～　会場近隣への挨拶・説明 8/20　神田警察署との打合せ（道路使用関係） 8/30　学生企画プロジェクト　オリエンテーション 9/13　学生企画プロジェクト　ミーティング①（検討・準備） 9/26　学生企画プロジェクト　ミーティング②（検討・準備）／ 千代田区景観都市計画課による講義 9/27　千代田区キャンパスコンソ運営委員会（検討・準備）
	準備 段階	10/7　道路占用許可仮申請（千代田区） 10/11　学生企画プロジェクト　ミーティング③（検討・準備） 10/11　道路使用許可申請（神田警察署） 10/15　道路使用許可（神田警察署） 10/16　道路占用許可本申請（千代田区）

<table>
<tr><td></td><td></td><td>10/24　学生企画プロジェクト　ミーティング④（検討・準備）
10/25　千代田区キャンパスコンソ運営委員会（検討・準備）
11/1　学生企画プロジェクト　ミーティング⑤（検討・準備）
11/6　行事開催届・行事における臨時出店届（千代田保健所）
※大学が連携する自治体の特産飲料の提供
11/8　学生企画プロジェクト　準備</td></tr>
<tr><td></td><td>実施段階</td><td>11/9 「神保町ワクワク魅力新発見」開催</td></tr>
<tr><td colspan="2">広報活動の内容</td><td>
<table>
<tr><th>実施した広報の種類</th><th>広報のターゲット層</th></tr>
<tr><td>千代田区キャンパスコンソ　ウェブサイト、X
9/20　実施予告
10/15　プログラム掲載
https://chiyoda-consortium.jp/news/20240920</td><td>区内在住・在勤者等
千代田区キャンパスコンソの大学生</td></tr>
<tr><td>広報千代田
10/5</td><td>区内在住・在勤者等</td></tr>
<tr><td>ポスター掲示（区内掲示版）
10/14～</td><td>区内在住・在勤者等</td></tr>
<tr><td>ちよだ文化祭ウェブサイト掲載
10/18～</td><td>区内在住・在勤者等</td></tr>
<tr><td>チラシ配布（区立教育機関）
10/21～</td><td>区内在学児童・生徒・その保護者</td></tr>
<tr><td>チラシ配布（区庁舎・出張所、図書館、児童館他）
10/25～</td><td>区内在住・在勤者等</td></tr>
<tr><td>千代田区公式 X、LINE、イベントカレンダー掲載
10/25～</td><td>区内在住・在勤者等</td></tr>
<tr><td>ふるさと文学　2024「2024「鴎外・漱石・一葉の神保町」（主催：本の街・神保町を元気にする会）における本イベントのチラシ配布
11/4　共立講堂</td><td>イベント参加者</td></tr>
<tr><td>各大学における学内周知（メール・掲示板等）
10/中旬～</td><td>千代田区キャンパスコンソの大学生・教職員</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

3. 実施状況

会場受付	会場全景
青空講義	読書エリア
神保町謎解き・タトゥーシール体験	ワクワク無料交換会
	

ろう石路上アート	キーホルダー作りワークショップ
エシカルアクションクイズ	お外で、楽楽ひろば

4. 実施の効果

○参加者数：約 250 人　※会場受付アンケート回答数及び個別イベント参加者数より

○地域の課題に対しての効果

1)「区内で学ぶ学生目線による滞留空間の創出」

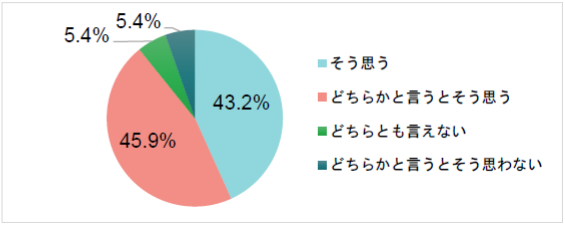
来場者に実施したアンケートにおいて、以下の回答結果が得られた。

① 「楽しく過ごせる場所が、大学生の目線で創られていた」【89.1%】
② 「このイベンドに満足」【94.6%】
③ 「同じようなイベントをまた開催してほしい」【100%】
※①③は「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計、②は「満足」「どちらかと言うと満足」の合計。

※①

Q.7　このイベントで、楽しく過ごせる場所が、大学生の目線で創られていたと思いますか？

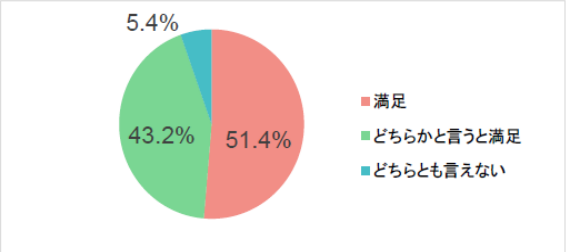
そう思う	16
どちらかと言うとそう思う	17
どちらとも言えない	2
どちらかと言うとそう思わない	2
そう思わない	0
合計	37



※②

Q.8　イベントの満足度は？

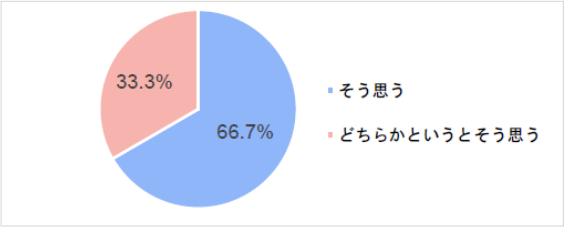
満足	19
どちらかと言うと満足	16
どちらとも言えない	2
どちらかと言うと不満	0
不満	0
合計	37



※③

Q.10　同じようなイベントをまた開催してほしいと思いますか？

そう思う	20
どちらかというとそう思う	10
どちらとも言えない	0
どちらかと言うとそう思わない	0
そう思わない	0
合計	30



アンケートの自由記述では、イベントの満足度の区分ごとに以下のコメントが得られた。

≪満足≫
・一つ一つが楽しい
・いろんな種類の遊びがあった
・子どもが本コーナーで推した本に夢中になった
・子どもでも出来るものがあり楽しめた
・サークル部長から活動のお話を聞けてとても興味深かった
・優しいお姉さんが美味しいお菓子をくれた
・なかなかできない体験ができて楽しかった
・店員さんの優しい態度に心が温かくなった
・親しみ感がよい
・楽しく学べた

≪どちらかと言うと満足≫
・たくさんの催しがあった
・生徒さんたちが親切だし楽しそうだった
・自分で出来ることが充実している
・本好きには天国
・スタッフの方がみんな優しくて素晴らしかった

≪どちらとも言えない≫
・子どもや若い人が興味を持つ内容が増えたらよりよくなると思った
・今年初めてだからこれからも続けてください

※抜粋転記

≪来場者アンケート≫

・方法　グーグルフォームおよび紙を利用した無記名方式

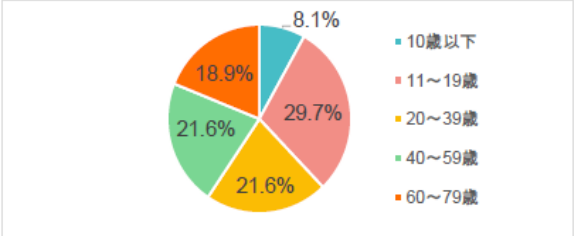
・回答者数　37 人(WEB20 人、紙 17 人)/117 人　※回答率 31.6%(117 人は受付来訪者数)

・回答者属性

(年齢)

Q.2　あなたの年齢は？

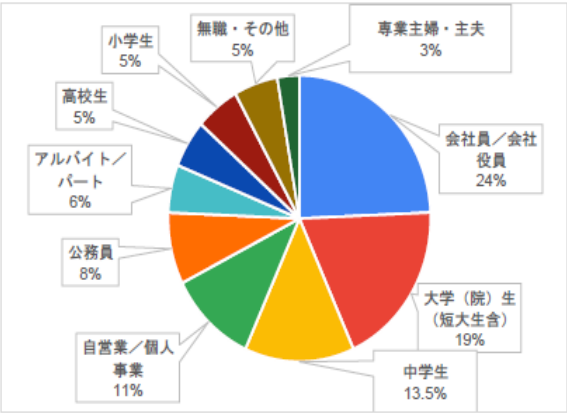
10歳以下	3
11～19歳	11
20～39歳	8
40～59歳	8
60～79歳	7
合計	37



（職業）

Q.3　あなたの職業等は？

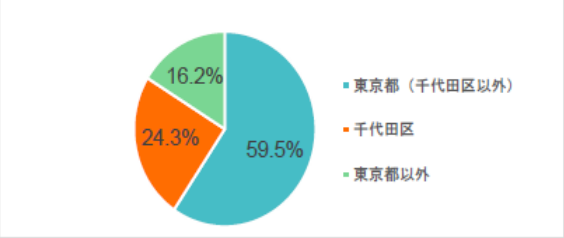
会社員／会社役員	9
大学(院)生(短大生含)	7
中学生	5
自営業／個人事業	4
公務員	3
アルバイト／パート	2
高校生	2
小学生	2
無職・その他	2
専業主婦・主夫	1
合計	37



（住まい）

Q.4　あなたのお住まいは？

東京都(千代田区以外)	22
千代田区	9
東京都以外	6
合計	37



2)「学生の学びの機会の創出」

企画・運営に参加した大学生に実施したアンケートにおいて、以下の回答結果が得られた。

①「今回のプログラムを通して得られたこと」 ※複数選択可
- ・地域(千代田区又は神保町)の特徴や良いところを知ることができた 【74.2%】
- ・他大学の学生と交流できた 【64.5%】
- ・地域の人と交流できた 【58.1%】
- ・イベントの企画・運営を通して自分の得意なことが少しでも分かった 【48.4%】
- ・地域(千代田区又は神保町)の課題が理解できた 【19.4%】

②「千代田区の取組みや神保町のまちをもっと深く知りたい」【100%】

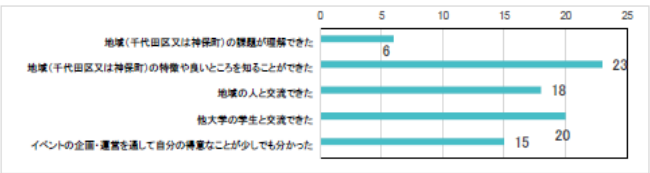
③「ウォーカブルなまちづくりのきっかけづくりに寄与したと思う」【80.6%】

※②③は「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計。

※①

Q.6　今回のプログラムを通してどのようなことが得られましたか？※複数選択可

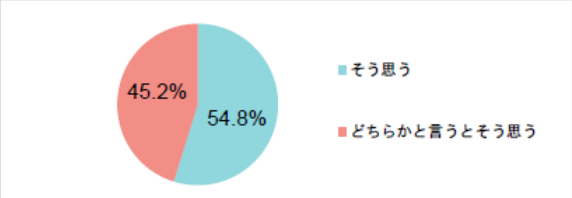
地域(千代田区又は神保町)の課題が理解できた	6
地域(千代田区又は神保町)の特徴や良いところを知ることができた	23
地域の人と交流できた	18
他大学の学生と交流できた	20
イベントの企画・運営を通して自分の得意なことが少しでも分かった	15



※②

Q.7　今回の活動に参加して、千代田区の取組みや神保町のまちをもっと深く知りたいと思いますか。

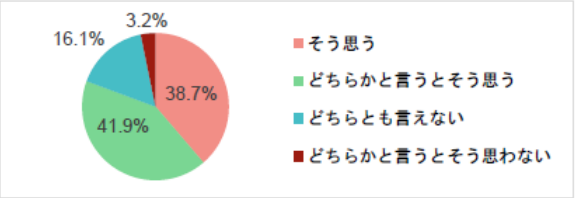
そう思う	17
どちらかと言うとそう思う	14
どちらとも言えない	0
どちらかと言うとそう思わない	0
そう思わない	0
合計	31



※③

Q.8　今回の自身の活動が、千代田区が期待する区のウォーカブルな
まちづくりのきっかけづくりに寄与したと思いますか。
※「神保町ワクワク魅力新発見」は、パブリック空間などを活用した
千代田区のプレイスメイキング（居心地の良い場所づくり）の実証実験として実施しました。

そう思う	12
どちらかと言うとそう思う	13
どちらとも言えない	5
どちらかと言うとそう思わない	1
そう思わない	0
合計	31



アンケートの自由記述では以下のコメントが得られた。

・この企画で神保町の魅力を知る良いきっかけになったし、学生達で企画を一から話し合い、考えてお店の方にアポをとるなどという貴重な経験ができた
・想像以上に多くの人が自分たちのブースに訪れてくれてワークショップを楽しんでくれている姿を目にして直接コミュニケーションをかわしながら地域の人の声を聞けたのは貴重だった
・地域の方々との交流を通して、看護師としてどの世代にも親しみを持ってもらいたいという、自分自身の理想像が明確になった
・地域の方々との交流を通じて、千代田区のSDGsに関する取組みをメガネの端材やクイズを通して広めることが出来たと感じた
・他大学の皆様と先生方と交流でき、また神保町を利用している方、近くに住んでいる方とも交流できた事に満足
・子どもから大人まで幅広い世代の方々と交流することができ、とても貴重な機会であった

※抜粋転記

≪参加学生アンケート≫

・方法　グーグルフォームを利用した記名方式

・回答者数　31 人/37 人　※回答率 83.8%

5. 実施上の課題

活動を進める上での課題	企画段階	○地域課題を理解するための十分な時間の確保 　具体的な内容は学生が立案する計画であった。学生アンケート結果からは、プレイスメイキングの背景、区や地域の課題等を理解してもらうための時間が、十分に取れなかったケースがあった。
	準備段階	○イベント告知期間の確保 　道路関係の許可前は具体的なイベント告知ができない。企画内容を確定するまで時間を要したこともあるが、結果として十分な告知期間が確保できなかった。本企画のターゲット層の1つ（小中学生とその保護者）を踏まえ、区立教育機関等にチラシを配布したが、告知がより十分にかつ効果的に行われるよう期間と方法を検討しておく必要があった。 ○準備期間の確保 　学生の活動は授業が優先されるため、準備に参加できなくなる学生が生じた。実証実験実施直前は、スケジュールに余裕がなくなる中で準備を進めることとなった。
	実施段階	○雨天・荒天時の対応 　雨天・荒天の場合は、縮小実施、または、中止する想定であった。代替日の設定が難しいことが理由であったが、雨天時の開催にあたり、何らかの条件・環境整備が課題として残った。

6. 収支状況

実際の収支状況	**【収入概要：46 万円】 ※千代田区からの活動支援金** **【支出概要：46 万円】** （内訳）　20 万円　什器等のレンタル費用 　　19 万円　消耗品の購入費 　　2 万円　広告費 　　5 万円　雑役務費他

7. 今後の活動の展望

今後取り組んでいきたいこと	○継続的な実施 　本企画は、区内で学ぶ学生目線による滞留空間の創出、学生の学びの機会の創出を大きな目的として実施したが、来場者と参加学生のアンケートの結果から、目的を達成できたと考えられる。しかしながら、来訪した方又は参画した学生はごく限られた人数・範囲であるため、今後も、プレイスメイキングを含めた効果的な取組みを展開していきたい。 ○地域との連携 　今回、地域の住民の方や事業者との連携は限定的であった。今後は学生と地域の協働・共創の視点を取り入れたい。
活動を継続的に実施していく上での課題	○活動期間の確保 　本実証実験の事業としての活動については、採択決定時期を早めるなど、企画準備から実施までの期間をできるだけ長期間確保できるように配慮願いたい。

	○主催者のコスト軽減（環境整備） 　支援金を利用して、折り畳みテント等をレンタル業者から借用したが、これらを無償（又は安価）で使用できる仕組みや情報があれば、主催者の負担・コストが軽減され継続的に実施できる環境整備につながるように思われる。 ○回遊・滞留の取組みの連携・連動 　区内の回遊・滞留を図る取組みは様々行われているが、これらをつなげられるような仕組みづくり（連携・連動）が課題と思われる。